



掛ける
アパートやマンション集合住宅に最適。
地面に置かずスペース確保。
荷物もかばんも汚さず受け取り。



繋げる
ドアに繋げて重たいものも受け取れる。
たっぷり30l 大容量が収納可能。
自転車かごや雨どい、どこでも繋げる。



持ち運ぶ
宅配利用が少ない方へ簡単設置。
ちょっとした買い物やレジャーに。
外から部屋へまとめて取り込み。



Cle'one Bag

TEL.050-1722-9565 info@cleonebag.com

宅配便置き配かばん
掛ける×繋げる×持ち運ぶ
クリオネバッグ

特許出願中 / 独占権取得



Instagram



宮澤佳基さん

**便利な
生活の維持を**

今私たち消費者ができる方向性が明確になつたことから、宮澤さんは「未来の自分の生活を認識し、理解し、守ることです」と話す。インスタグラムで物流業界の情報発信もしていきたいと考

えています。

松本商工会議所

経営指導員 山田聰

“収入の壁” 最新ルール解説セミナー

令和7年
12/16(火)
午後1時30分～午後4時30分

会場 松本商工会議所 3階
301会議室 定員 30名
(定員になり次第締め切らせていただきます。)

問合せ先 松本商工会議所 中小企業振興部 経営支援グループ

～税金と保険のギモンを今こそスッキリ!～

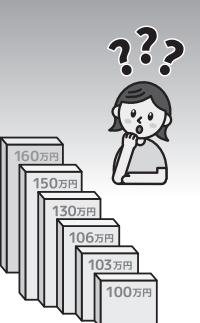
近年注目が高まっている「収入の壁」(106万円・130万円・150万円)。パートや副業などで働く中、「扶養を外れたらどうなる?」「手取りは減る?」「年金や医療保険は?」などの不安や疑問を感じたことはありませんか? 本セミナーでは、税理士・社会保険労務士・アドバイザリーセンスの講師が、最新の制度改正(2025年には非課税ラインが160万円に引き上げられるなど)も踏まえて、制度の仕組み・影響・損なく働くための判断基準をわかりやすく解説します。働き方に迷う方や従業員サポートをしたい方におすすめです。皆さまのご参加をお待ちしております。

**受講料
無料**

会員・非会員問わず
参加できます。

カリキュラム

- 【第1部】“収入の壁”とは?制度のしくみと背景】
- 【第2部】収入の壁を超えたたらどうなる?】
- 【第3部】損をしない働き方・企業の実務対応】



申込方法 FAXかメール・申込みフォームにてお申込み下さい。

申込みフォームは
こちらから▶▶



松本商工会議所では、創業を目指す皆さんに持つ悩みや課題を、各種専門家および当所スタッフが、多彩な支援メニューで解決に導き、「夢を実現・創業したい!」を全力で応援しています。

こうして夢を実現させた皆さんを紹介する「創業支援PRシリーズ」の第2回目として、宮澤佳基さん(Cle'one Bag、松本市)に、創業のきっかけとなつた物流業界への思いと、守つていきたいものについて伺いました。

物流・運送業界は「2024年問題」をはじめとした深刻な課題を抱えています。これらの課題解消の一助として、宮澤佳基さんは、掛けた状態のまま宅配ボックスとして、宮澤佳基さんは、宅配便置き配から「クリオネバッグ」を開発し、製造、販売をしています。

内勤職として大手運送会社に勤務していた宮澤さんは、物流・運送業界の課題を身近に感じ、危機感を抱いていました。特に業界内では、少子高齢化による人手不足、多忙下請け構造、再配達等が起因となる労働時間の長時間化の3つの問題が大きいと考えています。現状は、年々拡大するECチャネル(通販等)需要の増加と供給のバランスの崩壊、受け取りに不便を感じています。

幹線ドライバーの高齢化、物流を支える現場の中、中小業者や個人事業主にお金が流れない、再配達の負担などが大きく、物流業への魅力が減り退職する人がさらに増え、悪循環となる恐れがあります。この問題をなんとか解決できないか、業界に魅力を感じてもらい、手を出したいということがありました。

午前中に集中することでも、配達時間が午後中に集中することで満杯となり、居住者の約73%の方が満杯で

場合でも、配達時間が午前中に集中することで満杯となり、居住者の約73%の方が満杯で

午前中に集中することで満杯となり、居住者の約73%の方が満杯で

設置のままとされてしまっていること。さらに設置されている場合でも、配達時間が午前中に集中することで満杯となり、居住者の約73%の方が満杯で

午前中に集中することで満杯となり、居住者の約73%の方が満杯で

松本商工会議所
伴走型小規模事業者支援推進事業
経営発達支援計画
創業支援
PR
(令和7年度シリーズ②)

ドアノブに掛ける「クリオネバッグ」で いつでも宅配便の受け取りを可能に

す。意匠権と商標を取得し、特許出願中です。

再配達の問題がどのくらい需要があるのかを調査するため、2024年にクラウドファンディングに挑戦しました。そして確かに動きやすい「再配達」の課題です。

25年2月にオンラインショッピングをオープンしました。現在は通信販売のみの扱いです。

信もしていきたいと考

くらいい社会に認知され、クリオネバッグに販売されました。

再配達の問題がどのくらい需要があるのかを調査するため、2024年にクラウドファンディングに挑戦しました。そして確かに動きやすい「再配達」の課題です。

25年2月にオンラインショッピングをオープンしました。現在は通信販売のみの扱いです。

信もしていきたいと考

たことから、宮澤さんは「先を見据えて今回は小規模事業者持続化補助金の申請を見送る判断をされました。

今私たち消費者ができる方向性が明確になつたことから、宮澤さんは「未来の自分の生活を認識し、理

解し、守ることです」と話し、インスタグラムで物流業界の情報発信もしていきたいと考

えています。